



笑顔に 会える 仕事がある

潜在保育士の就職と
保育所の対応事例



社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
福島県保育士・保育所支援センター

Q&A

保育士の資格を持ちながら就業していない潜在保育士のみなさんや、資格がなくても保育補助者（子育て支援員等）として保育の現場で働きたいみなさんからの疑問にお答えします。ぜひ、参考になさってください。

Q1 保育士として働くために必要な「保育士登録」について教えてください。

A 児童福祉法の改正により、平成15年11月29日から保育士の定義が変わりました。「保育士」として働くには、業務に就く前に、都道府県知事に対して登録申請手続きを行い、保育士証の交付を受けることが必要になりました。保育士証の交付を受けてはじめて、保育士として働くことができます。登録・登録内容の変更（名字等）は全て、「登録事務処理センター」で行っています。登録まで最短で約2カ月かかります。

問い合わせ先 登録事務処理センター
<http://www.hoikushi.jp/index.html>
☎03-3262-1080

Q3 子育て支援員の資格を取得したいのですが、どうすれば良いですか。

A 子育て支援員になるには、都道府県などが実施する「子育て支援員研修」を修了する必要があります。この研修は、保育や子育て支援に関心があり、それらの分野で働くことを希望する方を対象に実施しています。子どもは好きだけど保育士の資格がない、地域の役に立ちたい、そのような方は、ぜひ、研修の受講をご検討ください。研修日程や申込方法などについては、福島県子育て支援課にお問い合わせいただくか、福島県子育て支援課のホームページでご確認ください。

問い合わせ先 福島県子育て支援課
☎024-521-8205 または
【福島県子育て支援課】でHP検索♪

Q5 求人情報が欲しいのですが入手方法がわかりません。

A 福島県保育士・保育所支援センターに来所または電話やメールなどでご相談ください。求職登録をすると、ご自宅に求人情報を郵送します。

主な問い合わせ先 福島県社会福祉協議会人材研修課
福島県保育士・保育所支援センター
☎024-521-5662
メール/jinzai@fukushimakenshakyō.or.jp

Q2 保育士資格は持っているけれど、ブランクや経験が無いなどの不安がある場合はどうすれば良いですか。

A 働く時間や仕事内容を調整して、朝の受け入れ時間のみの勤務や、1日4~5時間のパートタイムでの勤務など、ご自分のライフスタイルに合った働き方ができる保育所等も増えてきています。福島県では、保育士資格をお持ちの方が抱えている様々な不安を解消していただくため、各自治体での「保育士再就職支援セミナー」の開催や、保育施設の見学、職場体験のご案内など、ご相談も随時受け付けております。ぜひご利用ください。

Q4 保育補助者（子育て支援員等）の主な就職先は？

A 保育補助者の就職先としては、保育所、認定こども園、小規模保育、企業主導型保育所などがあります。職員採用の応募要件は園によって異なり、資格を問わない場合や、「子育て支援員研修を修了した者」を要件としている場合があります。



はじめに

現在国では待機児童の解消を目指し、「子育て安心プラン」により、2020年度末までに約32万人分の保育の受け皿を確保することとしています。

一方、保育園等を増やしていくためには保育の担い手となる保育士の確保が不可欠ですが、保育士の有効求人倍率は依然高い水準で推移しています。

このような中、福島県保育士・保育所支援センターでは、保育士資格を持ちながら保育士として就業していない潜在保育士の掘り起こしや、就職の支援に取り組んでいるところですが、今年度から新たに「子育て支援員」を対象職種に加え、保育士と共に、子育て支援を支える人材の就業相談や就職に向けたマッチング支援を実施しています。

今回の事例では、保育士資格を持ちながらも保育士経験が無く、はじめて保育所に就職した方と、子育て支援員として働いている方を取り上げ、就職までの経緯、就職してみてもの感想などを掲載しました。

また、潜在保育士や子育て支援員を雇用した各園が、求職者の立場に立った柔軟な採用方法に取り組んでいることや、どのような勤務形態で働いてもらっているかなども参考にしていただき、保育所等への就職を身近なものに感じていただけたら幸いです。

平成31年3月

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
福島県保育士・保育所支援センター

CONTENTS

P4

CASE1

潜在保育士の希望を柔軟に受け止めて採用
～チームワークの保育を目指しています～

P6

CASE2

子どもの最善の利益のための新資格
～子育て支援員を育てて日々の保育をさらに手厚く～

施設紹介

社会福祉法人
北信福祉会
あづま保育園



所在地	〒960-0828 福島県福島市笹木野字下屋敷46-3		
職員数	女性保育士15名(パート1名含む)、 男性保育士2名	園児定員	90名
URL	https://kosodate-web.com/azuma/shien.php		

やってみなきゃわからない
思い切って飛び込みました！

パート保育士 大槻博美さん



保育士は、幼い頃からの憧れの職業でしたが両親や先生から事務職を勧められました。その後しばらくして、ふと何気なく「保育士」について検索してみると、学校に行かなくても国家試験を受けて資格を取得できることがわかりました。そこからはもう夢中でしたね。年齢のこともあり「今やらない」と思って勉強を始めました。すると主人も子どもの世話をしてくれるなど協力してくれて、念願の保育士資格を取得できました。保育士として働くことに迷いはありませんでした。とは言え実習はしていないし、ピアノとかも「どうしよう…」という不安はありました。それでも「やってみなきゃわからない」と思いセンターに求職登録をしました。後日センターから保育士の求人情報をいただき、実際にお話を伺ってみようと思いました。

最初に見学をさせていただいたのですが、保育園のすべてが初めてなので新鮮でした。園の雰囲気も良く、通勤距離も自宅から車で10分くらいなので、主人にも話して応募してみようと思いました。紹介状と履歴書を持って改めて面接に行くと、募集要項にはフルタイムであったのですが、「お子さんもいるから短い時間でもいいですよ」と園長先生が配慮してくださって。ちょっとホッとしました。

現在は、午前9時から午後3時までパート保育士として働いています。子どもは好きなのですが、最初は何をどう接したらいいかわからない時もありましたね。半年経って、少しは動けるようになってきたかなと思います。それでもまだまだです。振り返るとあの時、行動に移したことで今の自分がありますし、まだまだ勉強することがたくさんあるので、目の前のごとを大切に続けていきたいと思っています。

プロフィール 2017年、独学で国家試験にチャレンジ。就職説明会に参加し、県社会福祉協議会の保育士・保育所支援センターに登録。2018年3月、保育士資格を取得。同年6月、同センターを通じて保育士急募中のあづま保育園を見学。7月、採用決定。前職は、金融関係の事務パート。夫と小2の子どもの3人家族。40代。

にするなど変更できますので。やはり採用の際は、働く側のニーズをしっかりと踏まえた上で歩み寄り、互いの着地点を見つけることは、とても大事だと思います。

現在、補助業務をメインとしたフリーの保育士として、複数の保育士がいる0・1歳児クラスに入っていたいておりです。最初は、保育園の流れと保育士の業務を理解していただくところに重きをおきました。経験豊富な複数の保育士が法人の理念をベースにしたマニュアルに基づき、フェイス

ツーフェイスでコミュニケーションを図りながら、業務を依頼しています。うちの園で新・中途採用になった方は、皆さんこの方法で徐々に馴染んでいただくようにしています。

保 育の仕事をしたと思った
時が大事。すぐさま行動に

半年が経過した今、大槻先生には「勇気を持って飛び込んできてください。長く一緒に働きながら保育の喜

びを分かち合いたいと願っています。これから再び保育の世界で働きたいと考えている皆さんには、保育の仕事をしたと思った時、すぐにアクションを起こしてほしいと思います。ハローワークや福島県保育士・保育所支援センター(以下センター)に連絡すれば様々な情報が入ってきます。勤務形態など自身の条件を固めておき、その上で就職活動に臨むと、マッチングの時に具体的な話



ができます。ぜひ、一歩踏み出してみてください。

潜在保育士の希望を
柔軟に受け止めて採用
～チームワークの
保育を目指しています～



育 休明けで職場復帰する
保育士が多い保育園

保育士不足は、私どもに限らず共通の課題です。そうした中、働きやすい環境ということでは、どちらの園でもそうだと思うのですが、保育士の有給休暇取得を助けておりますし、育

保育の仕事は、チームワークが大切です。保育士不足がなかなか解決されない昨今、あづま保育園では、よりよい保育を続けるために保育士同士が支え合い、育ち合える環境を大切にしています。緊急の保育士採用に際しても、潜在保育士で保育未経験の方であったり、働くに際しての希望などについて、柔軟に受け止めることを職員全員で決定し、質の高い保育を提供しています。採用から今日に至るまでのお話を志賀広美園長に伺いました。



▲社会福祉法人 北信福祉会
あづま保育園 園長 志賀広美さん

保 育の経験がなくても徐々に
慣れていけば大丈夫

今回採用された大槻先生は40代で保育士資格を独学で取得された方です。保育園に勤めたことはなかったのですが、小学2年生のお子さんがいらつしゃるといふこともあって、最初に見学にみえた時、考え方が柔軟で、物腰の柔らかい優しい人だと思えました。職員にも相談したところ満場一致で「経験がなくても大丈夫」という頼もしい返事が返ってきました。もともと

私たちの仕事は、子どものこと以外に洗い物や洗濯、おもちゃの消毒など、仕事がたくさんあるんです。保育士の手が回らないところを、自身の子育て経験も生かしながら保育に加わり、徐々に慣れていただくのがよいという話になりました。

求 職者のニーズをしっかりと
踏まえた上で歩み寄る

大槻先生には、2018年7月からパート職員として、午前9時から午後3時まで勤務していただいております。土日は、お休みです。また、当初は常勤をご希望でしたが、保育未経験ということでしたので、「まずはパートから始めてみては」という提案をさせていただきます。お子さんが大きくなって、余裕が出てきたらフルタイム

施設紹介

社会福祉法人
桑の実福祉会
認定こども園
伊達こども園



所在地	〒960-0456 福島県伊達市中道10		
職員数	49名 園長1名	園児定員	260名
URL	http://www.date-kodomoen.com		

**新資格「子育て支援員」を取得
研修により園での保育を再確認**

子育て支援員 早田 幸千さん



子育て支援員制度は、一緒に働いている保育教諭の先生と話す中で知りました。誰でも研修を受けるだけで取得できると聞いて、いい制度だなと思いました。私の夢は保育士だったんですが、家庭も子育ても、仕事もとなるとなかなか大変でした。今の職場で働き始めてから、何か先生方の役に立てる事はないかと思っていた時に、子育て支援員の資格取得のお話をいただき、家族とも相談し研修を受けてみようと思えました。

また、研修に行っている間は、仕事を休むことになり、園には負担をかけることになってしまうのですが、園長先生の応援もあり受講することができました。

研修は、内容が濃く充実した時間でした。知らないこともありましたが、これまでの経験も含めて知っていることをさらに深められたので、園での仕事に生かせると思えました。やっぱり子育てと保育は違うので、その辺りも再確認した感じですね。受講して改めて、園に補助的な職員が居ることで、保育士の先生方が教室を離れた時なども、子どもたちに注力でき、より安全安心な保育環境になると感じました。

ふりかえると保育補助の仕事始めたばかりの頃は、ホントに何をしたらいいかわからなくて聞いてばかりいました。そのうち1日の流れが見えてきて、自分で出来る仕事を見つけられるようになって今は、資格も取ることができました。この仕事の喜びは、何と言っても子どもたちの成長を間近で見られることです。そしてその喜びを、働く先生方みんなまで分かち合えることが素晴らしいと思います。資格はないけれど保育や子育て支援の仕事に関わりたいと思ったら、研修を受けることから始めてもいいかもしれません。研修は、自分の子育てにも役立ちます。

プロフィール 義母や実家の母に子どもを預けながら伊達郡桑折町の保育所の保育補助や幼稚園の用務員としてパートタイムで勤務。その後、伊達保育園（現認定こども園伊達こども園）のフルタイムの保育補助募集に応募し、時間給職員として働き始める。2017年、子育て支援員養成研修受講の打診を快諾。翌年度の研修を受講し無資格から有資格者「子育て支援員」となる。桑折町の自宅に夫と子ども3人、義両親と暮らす。

配膳、保育室や遊戯室の掃除、園のマスコットの存在になっている2頭のヤギの世話、トイレの清掃まで、どんなやっつけてくださる方なんです。資格を取っておけば今は時間給職員ですが、嘱託契約などその先のキャリアアップにもつながる道も開けます。また子育て支援員は、子育て支援センターの補助もでき、大変助かっているんです。早田さんには「ぜひ、ご自身のキャリアアップと園のために受けてください。研修は費用も含め、園がバックアップします」と伝えました。

意 欲があるなら保育の現場を見て
願いを叶える手立てを考へては

2018年度の養成研修を受講した早田さんは、現在、子育て支援員として午前8時から午後5時まで、以前と同じ時間給職員として勤務していただいております。保育教諭が年休や振り替えなどで休みの時や朝の受け入れ、日々の保育の中では、担任のほかにもう1人ほしいというところを補助していただいています。だいたい午前中は、いずれかの保育室に入っています。

保育園で働きたいという気持ちをお持ちなのであれば、まず一度園を訪ねるとよいと思います。現場を見ることでなりたい気持ちがさらに膨らみますし、どうしたら願いが叶うのかその道筋も見えて来ると思います。

子育て支援員制度は、特別な条件はなく「保育の仕事がしたい」という意欲さえあれば、どなたでも受講して資格を取得できる制度です。皆さんもチャレンジしてみたいかがでしょうか。



子どもの最善の利益のための新資格 ～子育て支援員を育てて 日々の保育をさらに手厚く～



A番	6:45～15:45
B番	7:30～16:30
C番	7:50～16:50
D番	8:30～17:30
E番	9:00～18:00
F番	10:15～19:15

▲認定こども園伊達こども園のシフト表

多 様な雇用形態で人員を
確保し保育の質を担保

伊達市は、公私立の幼稚園、認可保育園の認定こども園への移行が進んでいる地域です。子どもの園の前身は伊達保育園で、3年前に認定こども園に移行しました。現在の定員が260名と園児数が多いので保育教諭だけでなく、職員総数50名とかなりの大所帯ですが、すべては「子どもの最善の利益」のために整えた体制です。職員数が多いので雇用の形も多様です。朝夕の預かり保育、短時間勤務の職員との兼ね合いもあり、必要な人員を配置するため、シフトはA番からF番まであります。いつも2名の主幹保育教諭が頭をひねりながら配置を考えています。

保 育補助の有資格者を養成し
さらに安全安心の保育を

そうした中、伊達こども園は2019年に定員を275名に、2020年にはさらに90名増やさなければならぬ状況にあります。私たちが最も大切にしているのが「子どもの最善の利益」です。保育の質を担保し、磨きながら安全で安心の保育を続けていくためには職員の質をあげていかなければなりません。

自 身のキャリアアップと
園のために受講を奨励

早田さんは、幼稚園と保育園と合わせ約18年、保育補助の仕事をしてきた方で、とても人柄がいいんです。子どもたちに対しても一生懸命ですし、

一方で今年度は、保育教諭3名を採用しましたので新採用対象の研修もあります。普段の保育もそうなのですが、必要な保育教諭にプラスして人員がほしい時、研修や年休などで足りなくなる時などに、補助として現場に入れる有資格者がいるのは、とても助かります。そこで、伊達保育園の頃から保育補助として勤務していただいている職員の早田幸千さんに、子育て支援員の養成研修を受けてはどうかという話をしました。



▲社会福祉法人 桑の実福祉会 認定こども園 伊達こども園 園長 早田勝彦さん

福島県保育士・保育所支援センター

保育所・認定こども園・児童クラブでのお仕事を紹介します!!

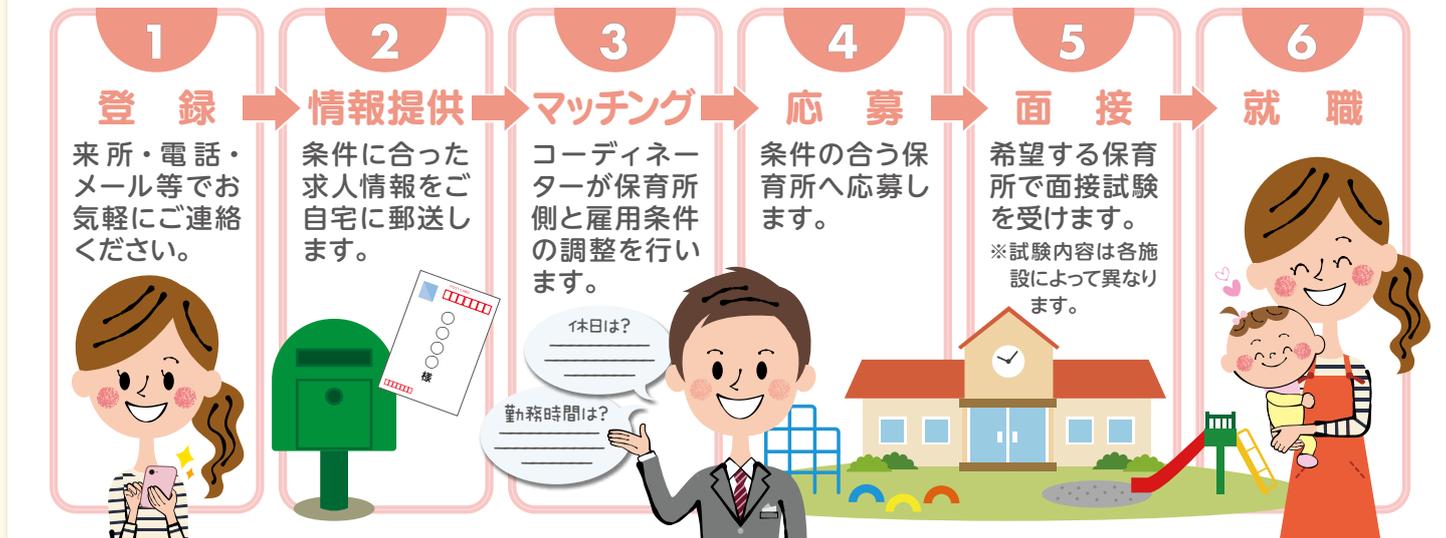
「保育士として再就職したいがブランクがある」「子育てと両立できるか不安」などの理由で、保育士としての再就職を悩んでいる方や、保育士資格はなくても保育補助者（子育て支援員等）として保育施設で働きたい方は、相談、求人情報の提供、就職支援まで「保育士再就職コーディネーター」がサポートいたします。

就職までの流れ ※求職登録で得られた個人情報は、本事業以外では使用いたしません。

登録していただける方

- ★保育士の資格をお持ちの方
- ★子育て支援員研修を終了された方

(地域保育コースのうち、「地域型保育」または「一時預かり事業」の修了者)



開催日 月曜～金曜
※土・日曜、祝日、
12月29日～1月3日は休館

受付時間 午前9時～午後5時

TEL 024-521-5662

メール jinzai@fukushimakenshakyō.or.jp

住所 〒960-8141
福島県福島市渡利字七社宮111
福島県総合社会福祉センター内



求職登録まではちょっと…

将来的に再就職したいけれど不安や迷いがある、という方の相談に応じます。保育所の採用状況や勤務体制などの最新の情報を提供いたしますので、お気軽にご相談ください。

私に合った働き方は?



保育士再就職支援セミナーを開催しています!

保育士の資格は持っていても、結婚や育児等で現場を離れてブランクのある方、資格はあるけれど現場未経験の方、保育補助者（子育て支援員等）として働きたい方を対象に、安心して保育所に就職できるようにすることを目的に毎年再就職支援セミナーを開催しています。詳しくは保育士・保育所支援センターまでご連絡ください。



内容	[1日目]	[2日目]	[3日目]
平成30年度の例	<ul style="list-style-type: none"> ●保育所の現状～保育の仕事の魅力～ ●保育所の職場に就職するに当たって 	<ul style="list-style-type: none"> ●新・保育所保育指針 ●子どもの発達と遊び 	保育所・認定こども園にて1日職場体験